

らいいプラス

演劇に遊びの要素を取り入れた「ドラマケーション」と呼ばれる手法が教育現場で注目を集めている。相手に合わせて体を動かす演劇の基本動作をゲーム感覚で行い、「コミュニケーション能力や集中力を高めよう」という。友達付き合いを深める外遊などの機会が少ない子供たちにとって、コミュニケーションを学ぶ機会になっているようだ。

「ハイッ」。向かい合った2人の生徒が同時に真上に跳び、掛け声とともに互いの両手を勢いよくたたいた。息が合わず、空振りするペアも。「セーの」と言っちゃダメだよ。芝居と同じで、相手の気配を感じるんだ」。講師を務めるアロの俳優から声が飛んだ。

東京都立飛鳥高校(北区)で7月中旬、2年生全員を対象に、総合学習とホームルームの時間を使って行われたドラマケーションの授業の様子だ。

ほかの人と重ならないように数を1から唱える「カウントアップ」は近くにいる人の動きを感じる力を鋭敏にし、チームワークを深める効果がある。2人で忍者になりきって手裏剣を投げ、受け止めるふりを繰り返す「手裏剣合戦」は、目に見えないものを表現する力が求められるという。

最初は恥ずかしがっていた生徒たちも次第に生き生きと動くように。最後は「花」「川」を体でどう表現するかをイメージし、クラス全員でポーズを決めた。

2年2組の久保勝也さん(16)は「相手の目を見て気持ち想像するなど、大学や会社で新しく人と出会った時に役立つようなことを学べた」と笑顔を見せた。

対話の力 演じて磨く

ゲーム感覚で「ドラマケーション」授業

同校でのドラマケーションの授業は今年が2年目。外国語や芸術の授業に力を入れていた同校だが、「表現力やコミュニケーション能力に自信がない生徒が多い」(竹浪隆良校長)のが悩みだった。現在受講は年2回。竹浪校長は「仲間と触れあひながら表現する楽しさを実感し、自分の殻を破るきっかけになれば」と期待する。

ドラマケーションは「ドラマ」と「コミュニケーション」を合わせた造語で、演劇を活用した教育に取り組んでいた元中学教師、正嘉昭さん(63)らが考案。文部科学省の研究事業に選ばれ、2005年から3年かけて開発した。現在は俳優などを養成する専門学校「傘下の「ドラマケーション普及センター」(東京・



相手の心感じ自分を表現 演劇の基礎訓練を応用

新宿)が各地に講師を派遣し、実践を重ねている。「仲良くなる」「体を感じる」「コミュニケーションを楽しむ」「表現を楽しむ」の4分野があり、それぞれ約30種類のプログラムがある。演劇といっても台本を片手に台詞を話すだけではなく、もたになつていのは演劇の基礎訓練。道具も不要だ。

正さんは「最近の子は集団で外遊びした経験が少なく、他人との意思疎通が苦手。対話や場の空気を読むことが不可欠な演劇を基にしたドラマケーションは、相手の心を感じ、自分の思いを伝える力を磨くのにうってつけだ」と話す。

これまでに依頼を受けて派遣授業をしたのは約150校。今年度は子供のコミュニケーション能力向上を目的とした文科省の芸術表現体験事業にも採用され、問い合わせが増えているという。

コミュニケーション能力にとどまらず、集中力を高める点に着目して、授業の導入部などに行う教員もいる。

埼玉県所沢市山口小学校の伊藤行雄教諭(61)は3年生の授業で、最初の5分間をドラマケーションに充てる。「カウントアップ」などを全員で行うことで一体感が生まれるほか、騒がしい教室の雰囲気も落ち着いて学習に入りやすくなる

演劇的手法でコミュニケーション力を養う「ドラマケーション」の授業。かざした手に合わせて動く(東京都北区の都立飛鳥高校)

演劇を取り入れた教育手法に詳しい日本大の渡部淳教授(教育方法論)は「自分を表現しやすい雰囲気教室に生まれて生徒の発言が活発になり自己表現力が育つ」と指摘する一方、「活動後に何を感じたか振り返らせないと、ただのゲームになり効果が薄れる」と指摘している。

自分の道ひらく少女の成長

の品評会では優勝。家の手伝いでミスをし、気分を損ねて自分から家を出してしまったことさえ、老いた隣人の思いやりに気付く機会となる。これはみんな指ぬきの魔法? ガーネットの人となりや浮沈する心の動きが丁寧に描かれている。

へまをしてへこたれても、自らの気持ちにそって自分らしく前途をひらく少女から、この夏、あなたも幸運を分けてもらいませんか。

指ぬきの夏



エリザベス・エンライト・作、谷口由美子・訳

「指ぬきの夏」

こころの一冊

少女は、水浴びに行った川の底から「銀色の指ぬき」を拾った。その夜、日照りに苦しむ一家に待望の雨が……。幸運のあの夏はここから始まった。

リンデン一家は米国の山野で生活を営んでいた。農業がなりわいの暮らしは自然と共にあり、ガーネットは家事を担いながら、幼女から少女への転換点にあった。指ぬきを拾った日から運はずぐに向いてくる。念

10年に及ぶ料理人人生の中

学

ぶ

みくろ、きよみ 北海道釧路市

前ではなかった。幸ひ

日経新聞
2010.7/30 (金)

キャンプに昆虫採集、読書さんまーいー。夏休みは学校以外で様々な体験をするチャンス。子供の成長の糧になる過ごし方は? 「わが家の夏休み体験」をテーマに400字程度でご意見を募集します。電話番号を明記し「学3」係 (FAX03・6256・2771、電子メールshakai@tokyo.